

JACD 主催

樋口琢善先生、中島稔博先生 出版記念講演会

～GP のための歯周治療と矯正治療～

概要

講演会

開催日：平成31年4月18日（日）

時間：10時00分～15時00分予定

場所：小倉歯科医師会館

（福岡県北九州市小倉北区大手町 11-6）

祝賀会

時間：16時00分より

場所：リーガロイヤルホテル小倉

（北九州市小倉北区浅野 2-14-2）

タイムスケジュール

10:00～	開会挨拶
10:05～12:05	樋口琢善先生
12:05～13:00	昼休憩
13:00～15:00	中島稔博先生
15:00～	閉会
16:00～	祝賀会

抄録

○ひぐちファミリー歯科 樋口琢善先生

『歯周外科ベーシックテクニック ポイント解説

～可能な限り歯を残す歯科治療と、高い手術成功率を得るために～』

歯周外科は観血処置であり、患者さんにとっても、我々医療サイドにとっても負担は大きく、敬遠されがちな処置であると考えられる。しかし、理論的根拠に裏付けされた治療術式と明確な目的を持って歯周外科を行う事で、歯の延命や審美性や機能性の長期予後も期待出来る有効性・有益性の高い処置である。どの分野の治療でも基本術式は大切であるが、とりわけ歯周外科のような技術の差が治療結果を左右する分野では、基本術式を身につけることが非常に重要となる。一本の切開、一針の縫合にも意味があり、各ステップにおける器具の選択やその使用方法などを精確に行う事が出来なければ、どんなにシンプルな術式であっても極めて困難に感じられることだろう。そこで「歯周外科ベー

シックテクニック ポイント解説」と題し、スライドや図説を交えながら、できる限り分かりやすく歯周外科テクニックの基本的かつ重要なポイントについて解説させて頂く。また後半ではその応用として重度歯周疾患患者への全顎的な対応と予後を見ていただく。歯周外科にこれから取り組んでいきたい先生はもちろん、アドバンスな処置をされている先生にとっても臨床の一助となれば幸いである。

略歴：1996年 松本歯科大学卒業

ひぐち歯科勤務

1999年 久留米市青木歯科勤務

2002年 現在地にて開業

2012年 南カリフォルニア大学歯学部 Visiting Scholar

所属：日本インプラント学会会員、日本顎咬合学会会員、臨床歯周病学会認定医、

日本審美歯科協会会員、OJ 会員、北九州歯学研究会会員、

日本包括歯科臨床学会副会長、JACD 会長

○なかしま歯科クリニック 中島稔博先生

『必ず上達 矯正臨床 日常臨床のための全顎矯正入門』

矯正治療は、大学や専門医のもとで学ばないと理解や治療ができない、ハードルの高い治療法であると矯正治療を開始するのに躊躇している先生方も多いと思う。しかし、日常の臨床においては、傾斜した歯や、ブリッジの平行性の獲得、清掃性改善のための叢生の改善など、矯正治療が必要な場合が多いのが実情ではないだろうか。さらに、それを超えて全顎的に歯の移動ができれば、ここがもっと改善できるのに..... というような症例に遭遇するのは珍しいことではないと感じている。最初にお断りしなければならないが、演者は大学に在籍して矯正治療を学んだ、矯正専門医ではない。しかし、幸運なことに大学卒業直後より、矯正専門医である、北九州市ご開業の山地正樹先生のもとで勤務させていただき機会をいただき、実践的な本格矯正治療の臨床を学ばせていただいた。その知識が風化しないようにするために、本格矯正治療のノウハウを開業しても自身の臨床に生かしたと考え、矯正治療に取り組んできた。そこで今回は、身近な日常臨床で矯正治療をどう取り入れ、活用するかについて私見を述べてみたい。また、今回、拙著を出版するまでの経緯や、執筆にあたって感じたことなどもお話しできればと考えている。参加していただいた皆様方にとって、少しでも参考になれば幸甚である。

略歴：1995年3月 福岡歯科大学卒業

1995年4月 福岡県ヤマヂ歯科クリニック勤務

1999年4月 福岡県さかきデンタルクリニック勤務

2002年1月 北九州市にてなかしま歯科クリニック開院

2016年4月 福岡歯科大学総合歯科学講座臨床准教授就任

所属：日本顎咬合学会認定医、日本歯周病学会会員、日本臨床歯周病学会認定医

Osseointegration Study Club of Japan 正会員、日本審美歯科協会会員

JACD 会員、北九州歯学研究会会員、上田塾会員、歯科臨床追究会 白石組会員